

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
習志野市	鷺沼台・藤崎地区、鷺沼地区、屋敷・実籾本郷地区、実籾三丁目地区	令和3年9月24日	

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	90.0 ha
② アンケート調査等に回答した市内の農地所有者の耕作面積の合計	53.4 ha
③ 地区内の80才以上の農業者の耕作面積の合計	10.7 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.3 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.6 ha
iii うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	1.8 ha
④ 地区内における今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	4.2 ha

2 対象地区の課題

- 本市の農地面積は2010年からの10年間で14haが減少しています。
- 高齢化等による遊休農地の増加や後継者不足、感染症等により、ますます農業の継続が困難になってきています。
- 農地の貸し付けや集約化に関する情報が広く普及していません。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- これからの農業経営に意欲をもっている農業者や農業法人へ集約します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

- 意向調査結果で貸し出し意向があった農地は12筆、1.5haとなっています。これらの農地以外でも後継者の目途がついていない農業者、高齢農業者等に対し、農地の貸し出し意向を確認していきます。
- 市は関係機関と連携し、認定農業者、認定新規就農者をはじめ、農地の規模拡大意向のある農業者、営農意欲のある若手就農者、農業法人を検討されている方へ、農地集約のマッチングや意向確認を行っていきます。
- 農地の貸し付けや集約化に関する制度や方法、また、その手順について、農業者等に分かり易く周知を図っていきます。